

ニッセイ インターネットアンケート ～「こどもの日」について～

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ（<https://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「こどもの日」に関するアンケート調査を実施しました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2024年4月1日（月）～4月15日（月）
- 実施方法：インターネットアンケート（「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー）
- 回答者数：21,486名（男性：10,332名、女性：10,777名、その他・未回答：377名）

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	594	1,253	1,657	3,014	2,501	1,313	10,332
女性	790	1,581	1,861	3,080	2,191	1,274	10,777
合計	1,384	2,834	3,518	6,094	4,692	2,587	
占率	6.4%	13.2%	16.4%	28.4%	21.8%	12.0%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問1～7

【こどもの日について】

- こどもの日に行くことについて、「家族や親族と食事する」と回答した方が18.0%と最多であった。
- こどもの日にかかる予算について、「5,000円未満」が43.4%と最多であった。また、「昨年より増やす」と回答した方は9.8%と、「昨年より減らす」と回答した方を上回った。

【習い事について】

- 回答者自身の子どもの頃の習い事について「書道・習字」「そろばん」がそれぞれ3分の1以上であるのに対し、お子さま（お孫さま）の習い事としては「書道・習字」は5.4%、「そろばん」は3.3%であった。
- お子さま（お孫さま）1人にかかる1ヵ月あたりの習い事の費用について、「5,000円以上10,000円未満」が19.3%と最多であった。また、「昨年より増えた」との回答が27.3%であった。

ポイント②

質問8～11

【教育資金について】

- 小学生のお子さまがいらっしゃる方のうち、「教育資金の準備に（少し）不安を感じている」方が59.1%と過半数を超えた。
- 教育資金を「準備するつもりだがまだしていない」と回答された方のうち、教育資金の準備に「（少し）不安を感じている」方は78.5%であった。
- 準備する教育資金の目標額について、「決めていない」が29.7%で最多であった。
- 教育資金の準備方法について、「学資保険」「預貯金・定期預金」がそれぞれ3分の1程度、「投資信託（つみたてNISAなど）」が7.7%であった。

【こどもの日について】

<アンケート結果のポイント>

- こどもの日に行くことについて、「家族や親族と食事する」と回答した方が18.0%と最多であった。
- こどもの日にかかる予算について、「5,000円未満」が43.4%と最多であった。また、「昨年より増やす」と回答した方は9.8%と、「昨年より減らす」と回答した方を上回った。

質問1 今年のこどもの日に行くことは何ですか？ ※複数回答（回答者数：18,574名）

(%)

順位	内容	全体						
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	家族や親族と食事する	18.0	16.6	23.4	23.9	15.7	15.5	14.3
2	こどもの日にちなんだ料理やお菓子を食べる	15.7	15.1	21.7	20.5	14.7	12.3	10.9
3	五月人形を飾る・つくる	10.2	9.7	17.0	12.5	7.9	8.6	7.2
4	こいのぼりを飾る・つくる	7.7	13.0	15.3	10.7	4.8	4.5	4.7
5	自分の行きたいところに行く	4.2	7.7	5.4	4.9	4.3	3.3	1.6
6	お小遣いをあげる	3.5	1.4	2.0	2.6	2.7	5.4	7.0

質問2 <質問1で「何もしない」以外を選択した方への質問>

こどもの日にかかる予算はいくらですか？（回答者数：11,691名）

(%)

内容	全体					
		未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生
5,000円未満	43.4	56.3	50.8	46.2	39.0	33.8
5,000円以上10,000円未満	19.1	18.0	24.0	23.2	21.3	15.3
10,000円以上15,000円未満	9.0	7.2	8.4	10.0	8.2	12.1
15,000円以上20,000円未満	3.2	1.7	1.5	2.5	2.9	3.8
20,000円以上	2.3	2.3	2.7	2.5	2.4	3.2

質問3 <質問2で「お金はかけない」以外を選択した方への質問>

こどもの日にかかる予算を昨年より増やしますか？（回答者数：9,839名）

(%)

内容	全体					
		未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生
昨年より増やす	9.8	45.1	19.2	7.5	7.3	3.0
昨年より減らす	5.9	16.1	20.5	14.1	12.4	9.4
昨年と変わらない	84.4	20.1	25.3	12.1	13.7	6.7

(2014年)

(%)

項目	割合
昨年より増やす	8.1%
昨年より減らす	4.7%
昨年と同程度	87.2%

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 上席研究員 久我 尚子くが なおこのコメント>



今年の春闘の賃上げ率は昨年を上回る水準でしたが、物価高の継続で実質賃金は23ヵ月連続で減少しています。このような中でも、こどもの日にかかる予算を「昨年より減らす」のは少数派で、8割以上は「変わらない」、約1割は「増やす」との回答で、「こどもの日」は、ある程度の予算をかける大切なイベントであるとの認識が強いようです。

なお、この傾向は消費税率が8%へ引き上げられた直後の10年前（2014年調査）でも同様です。少子化が進行する中では、家計負担が増して食費等の日常的な支出を節約しても、子どもにかかる出費は、親にとっても祖父母にとっても、特別な位置づけなのでしょう。

【習い事について】

<アンケート結果のポイント>

○回答者自身の子どもの頃の習い事について「書道・習字」「そろばん」がそれぞれ3分の1以上であるのに対し、お子さま（お孫さま）の習い事としては「書道・習字」は5.4%、「そろばん」は3.3%であった。

○お子さま（お孫さま）1人にかかる1ヵ月あたりの習い事の費用について、「5,000円以上10,000円未満」が19.3%と最多であった。また、「昨年より増えた」との回答が27.3%であった。

質問4 ご自身が子どもの頃に習っていたことは何ですか？ ※複数回答（回答者数：18,869名）

(%)

順位	内容	全体						
			~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1	書道・習字	37.6	21.4	32.0	39.1	45.7	40.2	24.2
2	そろばん	34.1	12.9	15.7	29.8	43.8	42.4	33.5
3	学習塾	28.7	35.7	34.5	35.0	29.7	24.8	12.4
4	水泳	23.8	44.5	46.3	36.6	19.7	8.7	3.7
5	音楽・楽器・声楽	22.2	24.0	28.1	26.1	22.8	21.0	7.7
6	球技	10.3	24.0	17.0	14.3	9.0	4.0	3.9

質問5 お子さま（お孫さま）が習っていることは何ですか？ ※複数回答（回答者数：14,661名）

(%)

順位	内容	全体					
			未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生
1	水泳	14.6	11.9	19.5	10.8	10.6	13.0
2	学習塾	14.5	4.1	14.8	24.5	24.3	14.5
3	音楽・声楽・楽器	8.4	4.6	10.1	8.9	7.8	6.5
4	球技	6.4	2.2	7.9	10.3	6.1	6.5
5	体操・ダンス・チアリーディング	5.8	6.9	8.6	4.5	3.8	3.5
6	書道・習字	5.4	1.0	6.8	6.8	5.6	4.8
9	そろばん	3.3	1.2	3.7	3.1	3.1	3.9

質問6 <質問5で「習い事はしていない」以外を選択した方への質問>

お子さま（お孫さま）1人にかかる1ヵ月あたりの習い事の費用はいくらですか？

（回答者数：8,081名）

(%)

内容	全体					
		未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生
5,000円未満	17.6	39.5	15.6	20.2	19.6	29.3
5,000円以上10,000円未満	19.3	31.5	29.1	20.2	17.8	18.7
10,000円以上15,000円未満	10.4	10.8	15.3	13.2	14.1	11.3
15,000円以上20,000円未満	9.9	6.1	14.1	17.3	14.7	10.6
20,000円以上30,000円未満	7.8	7.4	12.0	10.6	8.2	12.0
30,000円以上50,000円未満	7.8	2.3	8.8	14.0	16.3	11.7
50,000円以上	4.1	2.5	5.1	4.4	9.2	6.4

質問7 <質問5で「習い事はしていない」以外を選択した方への質問>

習い事の費用は昨年より増えましたか？（回答者数：7,923名）

(%)

内容	全体					
		未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生
昨年より増えた	27.3	17.3	40.5	17.2	14.4	1.9
昨年より減った	10.5	7.6	16.1	13.3	23.9	14.2
昨年と変わらない	62.3	15.1	24.7	11.5	12.9	7.1

【教育資金について】

＜アンケート結果のポイント＞

- 小学生のお子さまがいらっしゃる方のうち、「教育資金の準備に（少し）不安を感じている」方が59.1%と過半数を超えた。
- 教育資金を「準備するつもりだがまだしていない」と回答された方のうち、教育資金の準備に「（少し）不安を感じている」方は78.5%であった。
- 準備する教育資金の目標額について、「決めていない」が29.7%で最多であった。
- 教育資金の準備方法について、「学資保険」「預貯金・定期預金」がそれぞれ3分の1程度、「投資信託（つみたてNISAなど）」が7.7%であった。

質問8 お子さまの教育資金の準備に不安を感じることはありますか？（ありましたか？）

（回答者数：13,761名）

(%)

内容	全体					
		未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生
不安を感じている	25.7	25.7	24.7	12.5	17.3	6.8
（少し）不安を感じている	33.4	23.8	29.3	13.0	15.3	5.9
あまり不安を感じていない	22.1	20.9	24.0	12.4	14.5	7.6
不安を感じていない	18.7	12.0	12.8	5.9	8.7	7.3

お子さまが小学生以下の方は、教育資金の準備に不安を抱えていることが多い

質問9 お子さまの教育資金の準備はしていますか？（していましたか？）（回答者数：13,848名）

(%)

内容	全体				
		不安を感じている	少し不安を感じている	あまり不安を感じていない	不安を感じていない
準備している	54.9	22.3	32.9	25.2	19.6
準備するつもりだがまだしていない	16.9	40.1	38.4	11.4	10.0
準備するつもりはない	28.2	6.9	6.4	15.2	71.5

教育資金を「準備するつもりだがまだしていない」と回答された方のうち、教育資金の準備に「（少し）不安を感じている」方は78.5%

質問10 <質問8で「不安を感じている」「少し不安を感じている」を選択した方への質問>
準備する教育資金の目標額はいくらですか？（回答者数：9,607名）

<年代別> (％)

順位	内容	年代別						
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	決めていない	29.7	29.5	24.6	24.2	30.8	35.4	38.1
2	300万円～500万円未満	15.8	13.3	18.7	17.6	15.9	13.9	10.9
3	200万円～300万円未満	12.4	11.8	13.6	11.8	12.7	12.2	11.7
4	100万円～200万円未満	9.5	10.6	9.0	10.3	9.9	8.5	9.0
5	500万円～700万円未満	9.0	7.9	9.2	11.7	9.0	7.6	6.5
6	700万円～1,000万円未満	7.0	6.9	7.7	7.8	7.1	5.9	5.7
7	100万円未満	6.3	7.7	4.7	5.5	5.8	6.8	11.3
8	1,000万円～1,500万円未満	6.0	8.9	8.1	6.4	5.0	5.4	3.6
9	1,500万円以上	4.2	3.4	4.4	5.0	3.8	4.3	3.2

質問11 <質問9で「準備している」「準備するつもりだがまだしていない」を選択した方への質問>
どのような方法で教育資金を準備していますか？最も比率が高いものをお答えください。
(回答者数：10,929名)

<年代別> (％)

順位	内容	全体						
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	学資保険	35.6	23.3	37.9	40.6	37.2	35.1	24.3
2	預貯金・定期預金	33.6	40.3	28.4	31.3	33.2	35.4	41.5
3	投資信託（つみたてNISAなど）	7.7	14.1	16.0	8.5	4.9	4.3	2.4
4	祖父母からの支援	2.9	2.2	2.2	2.5	2.9	3.0	4.8
5	財形貯蓄制度	2.2	3.0	2.1	2.7	2.4	1.3	1.6
6	株式	2.1	1.6	2.4	2.2	2.1	2.0	1.9

(2014年) (％)

順位	項目	割合
1	預貯金	67.8%
2	学資保険・子ども保険	53.8%
3	財形貯蓄	9.6%
4	祖父母からの支援	7.6%

(2023年) (％)

順位	項目	割合
1	預貯金・定期預金	53.1%
2	学資保険	48.1%
3	つみたてNISA	6.7%
4	個人年金保険	6.3%

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 上席研究員 久我 尚子くが なおこのコメント>

教育資金の準備をするつもりがあっても、まだしていない方の大半は不安を感じています。この背景には、準備できていない焦り、どれくらいの資金が必要なのかが分からない不安、準備の目処が立たない現状等が影響しているのでしょう。

教育資金の準備方法では、これまで王道だった「預貯金・定期預金」や「学資保険・子ども保険」の割合が低下し、「投資信託（つみたてNISAなど）」がやや上昇していることから、今年に入り、日経平均株価が34年ぶりの最高値を更新し、新NISA制度が開始する中で、「貯蓄から投資へ」とのマインドが醸成されつつある様子が伺えます。

以上